

領域	認証評価基準	観点	自己点検・評価内容	根拠として必要な資料	業務実施・資料提出	担当(副校長・センター長)	自己点検・評価委員会による評価 ○=満たす、△=改善要、 ×=不十分	改善を要する点
領域 1 教育の内部質保証システム	基準1-2【重点評価項目】 内部質保証のための手順が、学校の目的及び三つの方針を踏まえて明確に規定されていること	観点1-2-④ 関係者の意見を聴取する仕組みが設けられていること ○どのような事項について意見を聞くかについては、学校で定める必要がありますが、在学生などについては観点1-2-④(2)に内容が記載されているため参照するように。 どのような事項を聞くか実施要項を作成する。	■職員 自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料(基本方針、関連規程等) 就職先又は進学先について、関係者の参画する会議体、対象としたアンケートに係る規程等 各意見聴取(関係者の参画する会議体、実施方法、回数、意見内容の例、学生・教職員アンケート等)に関する規程等 (就職先等へのアンケートについて分析する場合は、卒業(修了)生を受け入れている就職先、進学先のいずれかにアンケートを実施していることで足る。)	資料1-2-4-(1)-03 運営会議事要旨(教職員へ3ポリシーを問うアンケート実施後)	副校長(総務主事)	△	令和7年度末に実施した教職員を対象とした茨城工業高等専門学校の目的、教育理念、3つのポリシーに関するアンケートの集計結果を用いて、各委員会・センター等へ検討を行うよう呼びかけるなど、「関係者の意見を聴取する仕組み」について検討を行ってください。	
領域 2 教育組織及び教員・教育支援者等	基準2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること	観点2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっていること	(1)学科の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合性がとれていることを確認する。 ・前回の機関別認証評価以降に改組があった学科は、経緯をそれぞれ400 字程度で記載する。	DP、学則、学校要覧等	資料2-1-1-(1)-01 学校要覧 資料2-1-1-(1)-02 運営会議議事要旨(教職員へ3ポリシーを問うアンケート実施後)	副校長(総務主事)	△	令和7年度末に実施した教職員を対象とした茨城工業高等専門学校の目的、教育理念、3つのポリシーに関するアンケートの集計結果を用いて、各委員会・センター等へ検討を行うよう呼びかけるなど、今後の対応について検討を行ってください。
領域 2 教育組織及び教員・教育支援者等	基準2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること	観点2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっていること	(1)専攻の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合していることを確認する。 ・前回の機関別認証評価以降に改組があった専攻は、経緯をそれぞれ400 字程度で記載する。	DP、学則、学校要覧等	資料2-1-2-(1)-01 学校要覧 資料2-1-2-(1)-02 運営会議議事要旨(教職員へ3ポリシーを問うアンケート実施後)	副校長(総務主事)	△	令和7年度末に実施した教職員を対象とした茨城工業高等専門学校の目的、教育理念、3つのポリシーに関するアンケートの集計結果を用いて、各委員会・センター等へ検討を行うよう呼びかけるなど、今後の対応について検討を行ってください。
領域 5 準学士課程の教育活動の状況	基準5-5 適切な履修指導、支援が行われていること	観点5-5-① 学生のニーズに応えるための履修指導等の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること	■留学生 チェックした項目の実施状況が確認できる資料(実施日程表、実施要項) 専攻科生と合同実施の場合は、その説明を記述する。 受入実績がない場合は、その旨の説明と、受け入れた場合の対応方針を記述する。 その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	資料5-5-1-(4)-03 シラバス 授業科目 日本語Ⅲ	副校長(教務主事)	△	次年度の自己点検・評価においては、根拠資料について検討願います。現時点では根拠資料が不足しています。	

領域	認証評価基準	観点	自己点検・評価内容	根拠として必要な資料	業務実施・資料提出	担当(副校長・センター長)	自己点検・評価委員会による評価 ○=満たす、△=改善要、 ×=不十分	改善を要する点
領域5 準学士課程の教育活動の状況	基準5-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ○過去の機関別認証評価では、この観点について改善を要する点と指摘された受審校がきわめて多いことを考えると、2年から3年に欠けて全科目をチェックするような調査方法も考えられます。 この組織的な措置を毎年継続することを推奨します。	■答案の返却 答案返却時に採点確認を行った後、再度、答案を回収することのないこと	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程等、前年度のチェック結果が確認できる資料) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)	資料5-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料5-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料5-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(教務主事)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域5 準学士課程の教育活動の状況	基準5-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ○過去の機関別認証評価では、この観点について改善を要する点と指摘された受審校がきわめて多いことを考えると、2年から3年に欠けて全科目をチェックするような調査方法も考えられます。 この組織的な措置を毎年継続することを推奨します。	■模範解答や採点基準の提示	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程等、前年度のチェック結果が確認できる資料) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)	資料5-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料5-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料5-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(教務主事)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域5 準学士課程の教育活動の状況	基準5-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ○過去の機関別認証評価では、この観点について改善を要する点と指摘された受審校がきわめて多いことを考えると、2年から3年に欠けて全科目をチェックするような調査方法も考えられます。 この組織的な措置を毎年継続することを推奨します。	■同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程等、前年度のチェック結果が確認できる資料) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)	資料5-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料5-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料5-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(教務主事)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域5 準学士課程の教育活動の状況	基準5-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ○過去の機関別認証評価では、この観点について改善を要する点と指摘された受審校がきわめて多いことを考えると、2年から3年に欠けて全科目をチェックするような調査方法も考えられます。 この組織的な措置を毎年継続することを推奨します。	■成績評価の妥当性の事後チェック(シラバス通りに成績評価が行われていることの確認) ○1.シラバスに記載された評価基準(例:試験、レポート、課題の配分)を収集 2.実際の成績データ(例:試験点、レポートの評価、課題点など)を照合可能な形式(excelデータ等)で集める。 3.シラバスに記載された評価配分(例:試験50%、課題30%、レポート20%)と実際に教員が用いた配分が一致しているかを確認。 4.全科目を対象に確認するのが理想だが、サンプリング調査を行うことも可能。その場合、2~3年で全科目のチェックを行う。 5.問題点が確認されたら、当該教員への指導と改善提案を検討。	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程等、前年度のチェック結果が確認できる資料) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)	資料5-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料5-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料5-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(教務主事)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。

領域	認証評価基準	観点	自己点検・評価内容	根拠として必要な資料	業務実施・資料提出	担当(副校長・センター長)	自己点検・評価委員会による評価 ○=満たす、△=改善要、 ×=不十分	改善を要する点
領域5 進学士課程の教育活動の状況	基準5-6 CP に基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ○過去の機関別認証評価では、この観点について改善を要する点と指摘された受審校がきわめて多いことを考えると、2年から3年に欠けて全科目をチェックするような調査方法も考えられます。この組織的な措置を毎年継続することを推奨します。	■試験問題のレベルが適切であることのチェック ○成績評価を絶対評価で行っている場合、相対評価のような成績分布にならないことは前提としつつ、チェック方法の一例として、例えば、評価分布を算出し、分布に著しい偏りが検出された場合、教育内容や試験の質を改善するきっかけとすることも考えられる。このことは、成績評価の一貫性が保たれ、学生間の不公平感を軽減するというメリットがあると考えられる。	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程等、前年度のチェック結果が確認できる資料) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)	資料5-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料5-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料5-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート 資料5-6-3-(1)-04 成績分布図 高分子材料工学 資料5-6-3-(1)-05 系・部における成績資料に関する改善協議結果報告書	副校長(教務主事)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CP に基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	(1)成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校の組織的な措置として、成績評価の妥当性(シラバスとありに成績評価が行われていること)、答案の返却、模範解答や採点基準の提示、同じ試験問題が繰り返されていないこと、試験問題のレベルが適切であることに関するチェックが行われていることを確認する。	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CP に基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	○成績評価の妥当性の事後チェック(シラバス通りに成績評価が行われていることの確認)	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CP に基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	○答案の返却	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするか記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。

領域	認証評価基準	観点	自己点検・評価内容	根拠として必要な資料	業務実施・資料提出	担当(副校長・センター長)	自己点検・評価委員会による評価 ○=満たす、△=改善要、 ×=不十分	改善を要する点
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	□模範解答や採点基準の提示	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	□同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-01 教員相互による定期試験問題等のチェックに関する申合せ 資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。
領域6 専攻科課程の教育活動の状況	基準6-6 CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	□試験問題のレベルが適切であることのチェック	学校として組織的に取り組んでいる内容が確認できる資料(全ての項目について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度のチェック結果が確認できる資料等) 同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料等)	資料6-6-3-(1)-02 成績資料(本科・専攻科)保存と相互チェック実施要領 資料6-6-3-(1)-03 定期試験問題等相互チェックシート	副校長(専攻科長)	△	令和7年度定期試験問題等相互チェックシート(最終成果物)を提出してください。次年度は運用方法の再検討を行ってください。